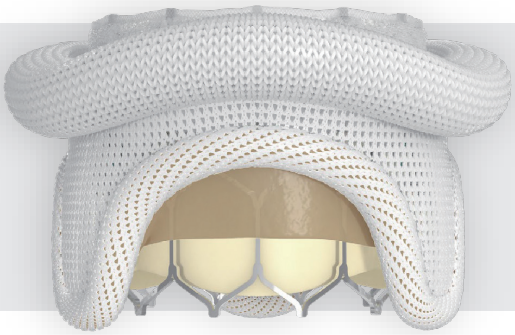
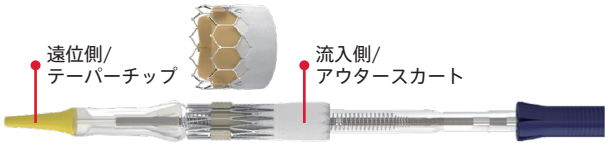
Edwards SAPIEN 3 Ultra RESILIA
僧帽弁位Valve-in-Valve
手技概要

本資料は、僧帽弁位Valve-in-Valveの手技概要です（一部の手順のみを記載）

適応、禁忌、警告、注意事項、起こり得る有害事象などの詳細に関する情報は添付文書およびトレーニングマニュアルをご確認ください。



1. 心房中隔穿刺を実施
2. Host弁をクロスして左室にワイヤ留置
3. 心房中隔裂開術の実施：10-14 mm径バルーンを使用
4. eSheath+ を挿入：Edwardsロゴマークを天井側に向けて挿入
5. （ラピッドペーシング用）ペースメーカリードを留置
6. THVのクリンプの向き、サイズ、拡張容量、ACT>300秒を確認



7. シースを介してデリバリーシステムを挿入
8. 生体弁のアライメント
9. 心房中隔を通過してHost弁までデリバリーシステムを進める
10. フレックスカテーテルを引き戻す
11. 生体弁の位置決め
12. 生体弁の留置
13. デリバリーシステムを抜去
14. 生体弁留置後の評価

Edwards

販売名／承認番号
エドワーズ　サピエン3 ／ 22800BZX00094000

※ご使用の際には製品の添付文書を必ずお読みください。
記載事項は予告なく変更されることがありますので予めご了承ください。

Edwards、エドワーズ、Edwards Lifesciences、エドワーズライフサイエンス、定型化されたEロゴ、Edwards Commander、Commander、エドワーズ コマンダー、Edwards eSheath、eSheath、eSheath＋、イ ー シ ー ス、Edwards SAPIEN、Edwards SAPIEN 3、Edwards SAPIEN 3 Ultra、SAPIEN、SAPIEN 3、SAPIEN 3 Ultra、サピエン3、サピエン3 Ultra、RESILIAおよびレジリアは、Edwards Lifesciences Corporationまたはその関係会社の商標です。
その他のすべての商標またはサービスマークはそれぞれの商標権者に帰属します。

© 2026 Edwards Lifesciences Corporation.All rights reserved.　無断転載を禁じます　PP--JA-0133

製造販売元　**エドワーズ ライフサイエンス合同会社**
本社：東京都新宿区北新宿2丁目21番1号　Tel.03-6895-0301　edwards.com/jp

Edwards